



## 名人作の小型ねぶたを展示～立佞武多の館～

青森ねぶたの第2代名人北川啓三氏が制作したとされる小型ねぶたが立佞武多の館有料展示室で公開されています。昭和40年代に制作されたものとみられ、全形で保存されているのはとても珍しく、指の動きなど北川名人の作品の特徴を間近で見ることができます。

主な 内容	第3回定例会の概要 …… 2～3	第4回臨時会の概要 …… 8	全国市議会議長会表彰 …… 10
	予算特別委員会 …… 4	政務活動費収支状況 …… 8	議会の傍聴について …… 10
	一般質問 …… 4～7	議決結果表 …… 9	編集後記 …… 10
	討論 …… 7	次回定例会の予定 …… 10	

# 令和2年第3回定例会

令和2年第3回定例会が6月4日から18日までの15日間の会期で開催され、市長から提出された議案26件を原案のとおり可決、承認、同意しました。請願2件は不採択としました。一般質問では、質問した6名の議員全員が新型コロナウイルスに対する市の対策などを質問しました。

## 人事案件

### ○監査委員

石 沢 和 夫 氏 (みどり町 新任)

### ○教育委員会委員

楠 美 恭 寛 氏 (朝日山 新任)

### ○固定資産評価審査委員会委員

竹 谷 博 則 氏 (磯松 再任)

今 悦 生 氏 (喜良市 新任)

齋 藤 悟 氏 (広田 新任)

### ○相内財産区管理会財産区管理委員

吉 田 誠 一 氏 (相内 再任)

三 和 悦 穂 氏 (相内 再任)

### ○人権擁護委員

秦 優 子 氏 (相内 再任)

今 眞 氏 (稲実 新任)

三 上 るり子 氏 (芦野 新任)

## 専決処分の承認

### ○令和2年度一般会計補正予算(第2号)

【補正額 2億5,415万2千円】

<主な事業>

- ・高齢者生活支援タクシー券配布事業  
(1,475万7千円)

75歳以上のみで構成される世帯の方に1人当たり5,000円分のタクシー券を配布するものです。

- ・農業経営持続化支援事業費補助金  
(1,600万円)

新型コロナウイルス感染症の影響により販売収入が減少した施設栽培による花きや野菜等の高収益作物販売農家に20万円を補助するものです。

- ・新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金(1億9,053万9千円)

一定の要件を満たす市内事業者に対し、一

店当たり20万円を給付するもので、給付対象に製造業、卸売業・小売業、生活関連サービス業などを新たに追加します。

- ・プレミアム食事券補助金(1,700万円)

商工会や商工会議所が発行するプレミアム食事券のプレミアム分を補助するものです。

- ・災害対策事務費(1,127万1千円)

災害発生時の避難所56箇所にもマスク、消毒液、体温計等を備蓄するものです。

## 補正予算

### ○令和2年度一般会計補正予算(第3号)

【補正額 2億2,743万8千円】

<主な事業>

- ・議員報酬等、職員人件費(▲388万7千円)

6月支給分の議員及び市長、副市長、教育長の期末手当を20%減額するものです。

- ・コミュニティ助成事業(170万円)

南虫流町内会が実施するコミュニティ活動に使用する備品等の整備に対し助成するものです。

- ・公共施設等整備基金積立金  
(2億1,999万8千円)

姥菴地内の不動産(土地)売払収入を全額基金に積み立てるものです。基金は施設の修繕等に活用します。

- ・地域防災組織育成助成事業(200万円)

漆川町内会自主防災会が実施する地域の防災活動に直接必要な設備等の整備に対し助成するものです。

- ・津軽半島地域サイクリング推進事業  
(569万8千円)

東北観光復興対策交付金を活用し、サイクリングプランの造成、WEBサイト掲載周知などを行うものです。

### ○令和2年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

【補正額 ▲5,715万4千円】

令和2年度当初予算に計上していた「国保標準事務処理システム導入事業」について令和2年度と令和3年度の2か年で実施することとするものです。



## 条 例

- 市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例  
地方自治法の改正に伴い、市長等が市に対して負う損害賠償責任について、善意でかつ重大な過失がないときは責任の一部を免除する制度を設けるものです。
- 監査委員条例の一部改正  
これまで識見を有する者から1名、議員のうちから1名を選任していた監査委員を、議員からは選任せず、識見を有する者から2名を選任することとするものです。
- 市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律が改正され、地方公共団体から国等に対する寄附を原則禁止としていた規定が改められたため、国に対して市有財産の譲与、無償貸付等ができるようにするものです。
- 市税条例の一部改正
- 国民健康保険税条例の一部改正
- 都市計画税条例の一部改正  
新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置が納税者等に及ぼす影響の緩和を図るため、市税の徴収猶予等に関する特例措置のほか、国民健康保険税の減免の申請期限に関する特例措置を定めるものです。
- 介護保険条例の一部改正  
新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合の保険料の減免申請書の提出期限の特例を定めるものです。
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正  
特定地域型保育事業者の連携施設の確保義務について免除される場合の条件を具体的に定めるものです。
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
家庭的保育事業者等の連携施設の確保義務について免除される場合の条件を具体的に定めるほか、居宅訪問型保育の利用範囲を拡充するものです。

## その他

- 財産の取得  
財産の名称 除雪グレーダ  
数 量 1台  
契約価格 2,640万円  
契約の相手方  
南津軽郡藤崎町大字水木字村元40番地1  
コマツカスタマーサポート株式会社  
東北カンパニー弘前支店  
支店長 小笠原 正人
  - 財産の処分  
財産の名称 土地  
地 目 宅地  
地 積 23,386.72㎡  
契約価格 219,999,999円  
契約の相手方  
弘前市大字外崎四丁目4番地34  
株式会社 成都地所  
代表取締役 福間 直樹
  - 和解について  
市内毘沙門の五所川原広域農道において、アメリカ合衆国政府軍所属の軍人が運転する車両が防雪柵に衝突し破損したことについて、市の損害額5,568,415円のうち、軍人が任意で加入している自動車保険で賠償されなかった2,568,415円をアメリカ合衆国政府が支払うこととし、同政府と和解するものです。
  - 市道路線の認定（唐笠柳15号線）  
唐笠柳地内において宅地造成に伴い寄附採納された道路（118.38m）を市道として認定するものです。
- ## 請 願
- 核兵器禁止条約に関する請願書  
国に対し核兵器禁止条約への署名を求める意見書を提出することを求める請願ですが、採決の結果、賛成少数で**不採択**となりました。  
→討論要旨 P7、採決結果 P9に掲載
  - 日米地位協定の抜本的見直しに関する請願  
国に対し日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書を提出することを求める請願ですが、採決の結果、賛成少数で**不採択**となりました。  
→討論要旨 P7、採決結果 P9に掲載

## 予算特別委員会

6月10日に11名の議員で設置された予算特別委員会は、委員長に山田善治委員、副委員長に寺田幸光委員を選任し、翌11日に付託された3件の議案について審査を行いました。委員会での質疑のうち、主なものを掲載いたします。

○専決処分の承認を求めることについて（令和2年度五所川原市一般会計補正予算（第2号））

**問** 五所川原GENKIプロジェクトの参加店舗数とプレミアム食事券補助金の対象業種は。

**答** GENKIプロジェクトの参加店舗は現時点で50～60店舗。プレミアム食事券は青森県の実施方針により、市内に事業所を有する飲食店が対象となる。

**問** 学校給食費の補償費の内訳は。

**答** 給食センター分でパンの加工賃が128,422円、牛乳の加工賃が1,115,667円。単独校分でパンの加工賃が4,668円、牛乳の加工賃が40,458円。

**問** 津軽半島地域サイクリング推進事業（ファムツアー）の委託先は。

**答** 現時点で決定していないが、平成28年度、平成29年度に公募型プロポーザルを行った県内のサイクリング事業者で実績のある三沢市の業者を考えている。

**問** 新型コロナウイルスの第2波、第3波が懸念されるが学校給食費完全無償化は予定どおり実施されるのか。

**答** 小中学生を対象とした医療費、給食費の無償化は、結果として子育て世代の家計を支援するもので、重要な新型コロナウイルス感染症対策と位置づけられる。予定どおり実施しつつ、国・県と連携しさらなる流行に備える。

## 一般質問



### 議会インターネット中継

<http://www.goshogawara-city.stream.jfit.co.jp/>

※議員氏名横のQRコードをご利用いただくとそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。



日本共産党

花田 進



### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 特別定額給付金は、本市では約53億円の支給となる。まだ届かないという声も聞かれるが、支給の状況を伺う。

**答** 本市の給付世帯は2万5,633世帯で、給付対象人数は5万3,528人となっており、5月6日に申請書類等の発送を行い、5月12日より申請受付を開始している。申請は世帯主が行うことになっており、5月29日現在において全体の約95%に当たる2万4,302世帯が既に申請し、約82%に当たる2万1,019世帯に対して既に給付している。5月6日に約60名の職員が出勤し、早期の支給に努めたところである。

**問** 深刻な影響を受けている飲食業を対象に行った事業継続支援金の支給状況を伺う。また、支援金を受けるためには市税等の滞納がないことが要件とされているが、滞納者には納付の誓約があれば申請可とすることで支給対象にできないか。

**答** 4月28日から申請受付を開始した飲食業を営む事業主の方を対象とした事業継続支援金の実施状況は、6月1日時点で申請件数が295件、このうち既に支給されている件数が215件、支給総額が4,300万円となっている。本市の飲食店の事業所数は、平成28年経済センサスによると約450件となっており、およそ半数の事業主の方へこの事業継続支援金が交付されたこととなっている。

支給要件については、このような支援金を交付するに当たっては多数の市民の納得感がなければならないと考え、売上げの3割減、それから最低限の義務である市税等の納付の履行という要件を設定させていただいたところである。





新政会

桑田 哲明



### 特別定額給付金について

**問** 各事業者に対して事業継続支援金20万円を支給したのは大きな支援策ではあったが、特別定額給付金（一人10万円）は市の経済を考えるのであれば警備上の問題等リスクを伴うが現金支給の方がはるかに大きな経済効果があったのではないか。

**答** 当市でも特に飲食業をはじめ様々な事業者の皆さんに影響が及んでいる。確かに現金で支給すると目の前にある現金は多分使いやすいと思う。銀行振込にすることによって、若い方は通販、ネット等で消費する可能性は確かにある。ただ、行政機関が国から移管されて多額の現金を現場で扱うということは、これは難しいと思う。

### 公共交通の路線が廃止になった地域の足の確保について

**問** 代替としてスクールバス、福祉バスを活用しても、今は確かに利用者が少ない。しかし団塊の世代が80歳を過ぎる10年後、地方にいても日常生活に困らないよう、高齢者、免許返納者の足を確保する態勢づくりが必要なのではないか。

**答** 公共交通の空白エリアにおいて、高齢者や交通弱者の買物、通院などの移動手段を確保するため、福祉バスやスクールバスの活用など、様々な可能性について公共交通事業者や庁内関係部署、市地域公共交通活性化協議会において十分に協議検討し、空白エリアの解消に向けて取り組んでいく。



至誠公明会

外崎 英継



### 小中学校普通教室へのエアコン設置について

**問** 新型コロナウイルス対策のためのマスク着用で熱中症対策が必要であるが、市内小中学校への普通教室エアコン設置について、近隣自治体（弘前市、つがる市、鶴田町）では平成30年度の国の臨時特例交付金を活用するなど今年3月末で全教室設置済みだが、当市は普通教室設置ゼロである。設置を急ぐべきと考えるかいかか。

**答** 各小中学校では換気扇や窓開放により換気を確保し、こまめな水分補給や負荷のかかる作業や運動を避けるなど熱中症予防対策を図る。小中学校へのエアコン設置については、緊急的な措置として保健室への設置について早急に検討していく。

### 小中学校児童生徒へのタブレット端末の整備について

**問** 文部科学省では、2019年からG I G A（ギガ）スクール構想を打ち出し、児童生徒に1人1台のパソコンを整備する5年計画をまとめた。当市では児童生徒へのタブレット端末の整備は考えているか。考えているとすればいつ頃か。

**答** 令和4年度までに児童生徒1人1台の学習用端末を整備する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して前倒しで9月までに予算化し、年度内の整備を目指している。







至誠公明会

平山 秀直



新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金の使い方について

**問** 地震や水害が起こった際に避難する指定避難所での新型コロナウイルス感染症対策はどうなっているか。

**答** 指定避難所での感染予防対策として、入り口で体温測定を行うための非接触型の体温計を購入するほか、こまめな手洗いや消毒など基本的な感染防止対策のため、主な指定避難所での初期対応5日分のマスクや消毒液、液体せっけんなどを準備する予定である。

そのほか、収容人員の多い体育館、公民館等の指定避難所には、テントやパーティションとセットの段ボールベッドなどを準備し、感染予防対策を行うこととしているが、避難者に発熱、せきなどの症状が出た場合は、可能な限り個室スペースを確保するとともに、県や市の保健部局と十分に連携し対応していく。

小中学校のオンライン学習について

**問** 児童生徒の1人1台端末の整備にかかる費用を今回の補正予算に計上するべきではなかったか。また、Wi-Fiルーターの貸し出しを検討するべきではないか。

**答** 1人1台端末の整備に要する経費は、今回の補正予算で計上することも検討したが、整備に当たっては青森県が主導する他自治体との共同調達を検討しており、端末の仕様等を決定した上で、10月以降に事業者と契約する予定となっていることから、今回の予算化は見送ったものであり、今後遅くとも9月までに予算措置をし、端末整備を進めてまいりたい。

Wi-Fiルーターの貸し出しについては、現在、家庭の通信環境を調査中であり、現在手持ちの機器もないことから、今後検討していきたい。



市民の声を聴く会

藤森 真悦



赤～いりんごの推進について

**問** 世界的にも珍しい果実や花も赤いリンゴは、昭和14年梅田の前田顕三さんが開発し五所川原市にとって長い歴史がある大切なものであるが、現状は県内外を見渡しても浸透しているとは言えず、赤～いりんごの並木道（鎌谷町・一ツ谷）、また通行止めになっているエルムの赤～いりんご大橋を見ても整備されていない状況である。商品開発に関しても活かしきれいていないと感じる。今まで市は全然力を入れてこなかったのではないのか？赤～いりんごは五所川原発祥であり、我々の武器であり、伝家の宝刀である。我々だけに発言権がある先人の思いが込められた宝である。やり方次第では地域から産業を生み出すほどの可能性を秘めている。これから赤～いりんごをどう推進していくのか副市長に是非お聞きする。

**答** 市が予算を投じて開発してきた品種（御所川原）はすでに30年が経過した。世界的に見ても加工用をこれだけ育種するのは非常に稀である。赤～いりんごの現在ある3品種（御所川原・栄紅・レッドキュー）は非常に特殊であり希少価値が高い。現在生産者が少なく生産量も少ない中、昨年取り扱っている皆様と情報交換した中で、生産者は販売先を見つけて欲しい、加工業者は加工原料が欲しいという要望があり、商談がまとまった例も出てきている。これからは赤～いりんごの需要があると感じている。3品種をブレンドしたシードル（りんごのお酒）を市が委託製造した試作品が出来上がってきている。非常にピンク色がきれいで酸味と甘味が絶妙であり非常に期待できている。観光面についても並木道は本数をまとめて小公園的な取り組みをしていく。また約1,000本近い赤～いりんごの木がある毘沙門のグリーンバイオ村でも子供達や高齢者の皆様に収穫体験を行っている。これからの観光名所の一つとして花が咲く時期・果実の時期に市民の皆様に見に来ていただけるよう周知を図っていく。

赤～いりんごは五所川原の地域資源として非常に貴重であり財産である。活用しながら生産販売・観光面、様々な振興策をとっていきたい。私的には将来はシードル工房、最後は赤～いりんごのブランデーを造りたいという思いがある。

※議員氏名横のQRコードをご利用いただくそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。  
<http://www.goshogawara-city.stream.jft.co.jp/>



新政会  
黒沼

剛



新型コロナウイルス感染症緊急対策について

**問** 休館中の津軽三味線会館と斜陽館への補填について伺いたい。

**答** 津軽三味線会館と斜陽館については、4月以降は市からの指定管理料をはじめ、国が示す雇用調整助成金等、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を可能な限り活用し、両館を運営しているところであるが、両館の管理経費が入館料でおおむね賅われているという状況を鑑みると、今年度の運営は非常に厳しいものと考えられる。このことから、教育委員会においては、指定管理者との協議を密に重ね、両館の適切な運用に対応してまいりたいと考えている。

討 論

第3回定例会最終日に、総務常任委員会の委員長報告に対して討論がありましたので、その内容を掲載いたします。

○核兵器禁止条約に関する請願書

**賛成** 日本共産党 花田 進

2017年7月7日、核兵器禁止条約が国連加盟193カ国中、122カ国の賛成多数で採択された。同条約は50カ国が批准すると90日後に発効する。人類史上初めて核兵器を違法化した核兵器禁止条約が発効すれば、「核兵器のない世界」へ大きく前進する力になることは明らかである。現在、38カ国が批准している。

日本政府に同条約への署名・批准・参加を求める意見書を450自治体が採択し、青森県でも13自治体が採択している。平和都市宣言をしている当議会も採択するようお願いする。

**問** PCR検査体制と感染者の受け入れ態勢について伺いたい。

**答** 当圏域におけるPCR検査については、五所川原保健所内に設置された帰国者・接触者相談センターでの相談を経由し、この相談センターから指定された帰国者・接触者外来のある医療機関においてPCR検査が実施される体制となっている。

現在は、帰国者・接触者外来において行うものに加え、都道府県及び中核市等が医師会に対しPCR検査を委託することが可能となり、青森市と八戸市がそれぞれの地区の医師会に運営を委託してPCR検査を行うこととしているほか、弘前市医師会がPCRセンターの設置を検討し、県との協議を行っている。

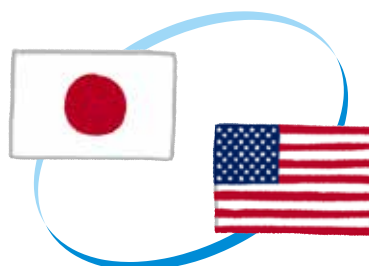
感染者増加時の対応として県では、青森市内に宿泊療養施設を確保しており、五所川原保健所管内において感染者が増加し、軽症者の宿泊療養を実施する場合は、この宿泊療養施設を利用することとなる。

○日米地位協定の抜本的見直しに関する請願

**賛成** 日本共産党 花田 進

日米地位協定は、1960年6月に安保条約とともに国会承認が強行された。内容は日本に駐留する米軍への基地の提供とともに、米軍・米兵に様々な特権を保障し、日本の国家主権、国民の人権を侵害するものである。

韓国などでは、不平等な協定が改定されている。国民の声を大きくし、政府を動かさないと変わらない。議員の皆さんも声を上げましょう。



# 令和2年第4回臨時会

7月8日、令和2年第4回臨時会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策のための経費等を追加する令和2年度一般会計補正予算（第4号）を原案のとおり可決しました。

## ○令和2年度一般会計補正予算（第4号）

【補正額 4億4,756万3千円】

＜主な事業＞

- ・小中学校保健室冷房装置整備事業  
(584万8千円)

感染症予防のためマスクを着用することによる熱中症予防対策として小中学校の保健室にエアコンを設置するものです。

- ・市民活動応援事業（315万2千円）

新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している市民活動を活性化するため、公益的活動を行う市民団体に対し、1団体当たり最大20万円の補助金を交付するものです。

- ・ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業  
(7,489万7千円)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯の生活を支援するため、児童扶養手当を受給する世帯等に対し、1世帯5万円（第2子以降3万円追加）の給付金を支給するものです。また、感染症の影響により家計が急変し収入が大きく減少した世帯には、追加で5万円を支給します。

- ・新生児特別定額給付金給付事業  
(2,524万1千円)

特別定額給付金の支給対象となっていない令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児1名につき10万円の給付金を支給するものです。

- ・地域家賃支援給付金（4,811万7千円）

賃貸借契約を結び事業を営んでおり、令和2年5月から12月までの間のいずれか1か月の売上高が前年同月比で30～50%減少している法人または個人に対し、家賃の3分の2（最大6万円）を6か月間補助するものです。

- ・事業継続支援金（3,540万円）

令和2年2月から5月までの間のいずれかの月の売上高が前年同月比で30%以上減少している法人または個人に対し1事業者につき20万円を支給するもので、支給対象を農林漁業を除く全職種に拡大するものです。

- ・小中学校教育情報化整備事業  
(1億6,250万6千円)

児童生徒1人1台のコンピュータを整備し、子供たちの資質・能力を一層確実に育成できるICT環境を構築するものです。

## 平成31年度政務活動費収支状況

議員の調査研究その他の活動に資するために、会派（所属議員が1人の場合を含む）に対して、議員1人当たり月額2万7千円の政務活動費を交付しています。平成31年度の収支の状況は次のとおりです。

（単位：人、円）

会 派 名	至誠公明会	新 政 会	日本共産党	市民の声を聴く会	計	
所 属 議 員 数	12→11（※1）	9	1	1（※2）	22	
交 付 額	3,645,000	2,916,000	324,000	243,000	7,128,000	
支 出 額	2,225,927	2,401,346	173,122	243,964	5,044,359	
支 出 額 の 内 訳	調 査 研 究 費	0	1,269,701	0	163,680	1,433,381
	研 修 費	2,138,269	1,093,845	152,680	0	3,384,794
	広 報 費	0	0	0	0	0
	広 聴 費	0	0	17,770	0	17,770
	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0
	資 料 作 成 費	68,740	37,800	0	67,918	174,458
	資 料 購 入 費	18,918	0	2,672	12,366	33,956
人 件 費	0	0	0	0	0	
事 務 所 費	0	0	0	0	0	

※1 R1.6.25付けで1名脱会 ※2 R1.6.25付けで1人会派を結成



# 令和2年 第3回定例会・第4回臨時会議決結果表

## 令和2年第3回定例会

### 【賛否の分かれた案件】

議案番号	議席番号及び 議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	賛 成	反 対	白 票	議決結果
		藤森 真悦	花田 進	高橋 美奈	磯邊 勇司	外崎 英継	寺田 幸光	黒沼 剛	桑田 哲明	山田 善治	鳴海 初男	松本 和春	木村 慶憲	成田 和美	吉岡 良浩	秋元 洋子	平山 秀直	三濁 春樹	木村 孝夫	山口 永慈	伊藤 清一	木村 馨	加藤 成				
議案第50号	五所川原市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	11	9	1	原案可決
議案第71号	監査委員の選任について (石沢 和夫 氏)	○	○	白	○	白	○	○	○	○	○	白	白	白	白	白	白	○	○	○	○	○	○	11	0	10	同意
請願第2号	核兵器禁止条約に関する請願書	白	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	9	10	2	不採択
請願第3号	日米地位協定の抜本的見直しに関する請願	白	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	10	10	1	不採択

※(1)議長は採決に加わりません。(2)○は賛成、×は反対、白は白票(賛否が明らかでないもの)。

### 【全会一致の案件】

議案番号	件名	議決結果
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度五所川原市一般会計補正予算(第2号))	承認
議案第47号	令和2年度五所川原市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第48号	令和2年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第49号	五所川原市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について	原案可決
議案第51号	五所川原市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第52号	五所川原市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第53号	五所川原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第54号	五所川原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第55号	五所川原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第56号	五所川原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第57号	五所川原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第58号	財産の取得について(除雪グレーダ)	原案可決
議案第59号	財産の処分について(土地)	原案可決
議案第60号	和解について(五所川原広域農道の物損事故に係る和解の件)	原案可決
議案第61号	市道路線の認定について(唐笠柳15号線)	原案可決
議案第62号	教育委員会委員の任命について(楠美 恭寛 氏)	同意
議案第63号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(竹谷 博則 氏)	同意
議案第64号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(今 悦生 氏)	同意
議案第65号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(齊藤 悟 氏)	同意
議案第66号	相内財産区管理会財産区管理委員の選任について(吉田 誠一 氏)	同意
議案第67号	相内財産区管理会財産区管理委員の選任について(三和 悦穂 氏)	同意
議案第68号	人権擁護委員の候補者の推薦について(秦 優子 氏)	同意
議案第69号	人権擁護委員の候補者の推薦について(今 眞 氏)	同意
議案第70号	人権擁護委員の候補者の推薦について(三上 るり子 氏)	同意

## 令和2年第4回臨時会

### 【全会一致の案件】

議案番号	件名	議決結果
議案第72号	令和2年度五所川原市一般会計補正予算(第4号)	原案可決

次回定例会の予定	9月 3日(木)	本会議 (開会)
	9月 7日(月) ～ 8日(火)	本会議 (一般質問)
	9月 9日(水)	本会議 (総括質疑、予算決算特別委員会設置、議案付託)
		予算決算特別委員会 (組織会)
		常任委員会 (議案審査)
	9月10日(木) ～14日(月)	予算決算特別委員会 (議案審査) 〔12日(土)、13日(日)を除く〕
9月17日(木)	本会議 (閉会)	

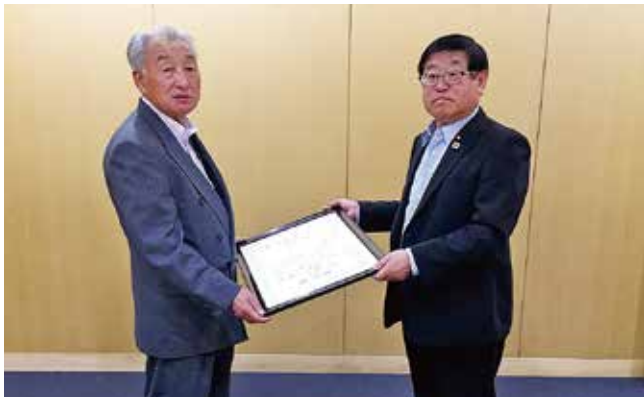
※開会は午前十時を予定しています。  
※日程が変更になる場合があります。  
※六月一日から九月三十日までは一  
ルビズ(夏の軽装) 実施期間です。  
次回定例会日程が正式に決定され  
るのは八月末となりますので、市の  
ホームページ等でご確認ください。

● お問い合わせ先…議会事務局

## 全国市議会議長会議員表彰

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて書面開催となった全国市議会議長会第96回定期総会において、木村博議員が在職15年以上の議員として表彰を受けました。

(※市町村合併前の町村議会議員としての在職期間は、2分の1に換算して通算されます。)



表彰を受けた木村博議員 (左)

## 議会の傍聴について (お願い)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、市議会の傍聴を次のとおりとします。ご不便をおかけしますがご理解いただくようお願いいたします。

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがあるときは傍聴を控えてください。
2. 傍聴される方は受付の消毒液で手指の消毒をしてください。
3. 傍聴席では間隔を空けて着席してください。

※本会議の様子は、インターネット中継でご覧になれます。また、本庁舎1階の土間ホールでは、行事等で使用している場合を除き、本会議および予算(決算)特別委員会の中継を放映しています。

## 編集後記

世界的に猛威を振るうコロナウイルス、そして人種差別、様々な問題が溢れ返る2020年・子供達に目を向ければ学生最後の様々な大会や発表の場に向け練習していたにもかかわらず、コロナの影響により中止となり、目標を失い未だに心が沈んでいる皆さんも沢山いると思います。世界的に活躍する日本のロックバンド ONE OK ROCK (ワン・オク・ロック) 彼らが18歳世代の若者に向けて唄うWe areと言う楽曲の中でボーカルのTakaさんはこう投げかけています。(崖っぷちに立たされ・全ての事に嫌気がさし不安を感じても・それは若さゆえもたらす絶望感・みんな同じだよ・君たちは光なんだよと!) 学生の皆さんの周りには大切な家族・友人・仲間が沢山います。1人ではありません。皆さんは五所川原市にとって光(宝物)です。希望をもち前向きに頑張ってくださいと願います。私も市民を守る議員の1人として頑張ります。(藤森真悦)

## 広報広聴委員会

委員長	山 口 孝 夫
副委員長	藤 森 真 悦
委 員	寺 田 幸 光
委 員	桑 田 哲 明
委 員	黒 沼 剛
委 員	外 崎 英 継
委 員	高 橋 美 奈

■発行／五所川原市議会 ■編集／広報広聴委員会

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [五所川原市](#) [検索](#) → 五所川原市ホームページの関連サイト [五所川原市議会](#) をクリック

メールアドレス [gikai@city.goshogawara.lg.jp](mailto:gikai@city.goshogawara.lg.jp)

※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見はよりよい議会だよりの発行に役立たせていただきます。



議会ホームページ  
のQRコード